

令和4年度第1回 西尾市多文化共生協議会 議事概要

日時	2023年3月16日(木) 13:30~15:00
場所	西尾市役所2階 21会議室
出席者	近藤敦会長、近藤基宏(代理岡本)委員、磯貝明美委員、川部國弘委員、岩瀬恵委員、高木祐子委員、内田誠委員、高橋文華委員、トラン ティ ホワ委員
欠席者	土井佳彦委員、木下典子委員、安藤寛一委員、手嶋修一委員、中西真希委員、大河内リナ委員
事務局	西尾市 手嶋課長、蛭川補佐、山崎主査、稲吉主事、

1. 開会

事務局(山崎)

- ・ 土井委員、木下委員、安藤委員、手嶋委員、中西委員、大河内委員が欠席。
- ・ 川口委員は異動により、中西委員が新たに委員として就任。

事務局(手嶋課長)

- ・ 本日は忙中、協議会に参加いただき感謝申し上げます。今年度、初めて対面での開催となり、うれしく思っている。
- ・ 本市には約1万人の外国人市民が暮らしている。外国人と日本人が共に暮らしやすい多文化共生のまちづくりを推進するために、多文化共生プランの策定を進めている。委員の皆さんには、多文化共生プランの策定に向けて尽力いただいていることに改めて感謝申し上げます。これまでの協議会で寄せられた意見、指摘をもとに改善し、良い形になってきていたと感じている。本日は、前回、協議されなかった3項目について重点的に協議をお願いしたい。忌憚のない意見、指摘をいただき、より良いものを作りたいと思っているので、よろしくをお願いしたい。

2. 議題

(1) 西尾市多文化共生推進プラン施策実施計画・状況調査について

事務局(山崎)

多文化共生推進プラン施策実施計画について説明する。(別添)

内田委員

今回の会議を開催するにあたって、何を期待されているのか、意図がわからない。質問を出したが、回答になっていない。

事務局（蛭川補佐）

プランの内容について各課の取組み予定をご確認いただきご意見をいただくと同時に、取組についてご提案をいただきたい。

近藤会長

ガイドラインみたいなものが計画、やれてなところはいつやるのかまでは、つめて書いてない。5年間の間に着手できていないものやる。必要に応じて修正する。また、新たな課題がでてくる場合は、追加する議論をする場ではないかと思う。

いつどういった形でやる。時間的なものを書いたプランというのはないのではないか。（他自治体の状況では）

次回から計画書的に時期を記入した形に修正するように考えて見えるようなので。もう少し計画書的になるのではないか。

内田委員

管理シートは2022年度の間違い？

事務局（山崎）

今日配布した管理シートは、今後のスケジュールにはなるが、2021年度というのは、プラン策定時のもの。毎年どういった動きをとっているかを調査する。目標値も掲げているので、毎年どういう動きをとるかをみていきたい。

内田委員

計画された方が、5年間の動きについて、計画を持っていなければ、目標を達成できない。実行する前に計画として作るべきだったのではないか。

高木委員

そもそも、目標があるのに、毎年、どういう数値になるのか、目標も持たずに達成ができるのか。これだけの計画をそのまま配布されてもわからない。あ、そうですかで終わってしまう。人事異動でわかる方がいなくなってしまう。はじめから計画された方が毎年の目標値をもっていなければ達成できないのではないか。プランを実行する前に計画を立てるべきだったのではないか。

事務局（蛭川）

プラン自体に主な取組内容がでている。今回は具体的に何をするのかを見ていただき、もっといい方法があるのではないか等の提案をいただけると助かる。

近藤会長

他の自治体でもそうだが、数値に縛られるのではなく、毎年のことを最後にどうできたかを見るので、毎年のことをどうこう言うものでもない。5年後がどうなっているか、進んでいるか、課題は何かを見ていけばいい。どこまで進んだかを厳密に見る必要はないと思う。年度が終わると数値が出ると思う。

事務局（山崎）

今回は当初の取組みを各課に投げた結果をここで検討。来年度以降、夏頃会議を設けて話し合う場を設けたい。今年度末に再度調査をし、1年後の結果がわかる。また、来年度の取組み内容についても確認する予定でいる。

高木委員

どんな意見を求められているかがわからない。

内田委員

項目をみて、意見をいただくというのであれば、もう少し見やすくして欲しい。

川部委員

計画者の立場からいうと、小難しいことではなく、外国人の方たちに日常生活のルールくらいは覚えて欲しい。戸惑っている地域の方が増えている。外国人の方が町内会町会議にでて、日本語の資料が理解できるのか。外国人が地域で活躍するにはどうするか。受け皿を行政が作っていただかないと絵に描いた餅になってしまうのではないか。実態に目を向けて欲しい。

近藤会長

ゴミ分別に関する案内が一部未実施。動画で見られるようになるととても効果的。いつ頃になりそうなのか。

事務局（稲吉）

ごみ減量課と進めてはいるが。もちろん、地域つながり課が動画のプラットフォームとなるよう、4つの動画をごみ減量課でつくるよう準備をしている。3月中にできる。3言語でペットボトルの捨て方、缶、瓶の捨て方など1つずつ作っている。この計画を全部読むのは、難しいのはわかっている。いろいろな分野の方に委員をやってもらっている。自分の得意な分野について、現場の立場からこうした方がいいなどのご意見があると助かる。担当課につないでいくことができる。正解がないものばかりなので、いろいろな角度から意見をいただければと思う。

近藤会長

今の動画の話からいくと、動画をどこから見られるのか、町内会の話の中で共有するとか、言語コミュニティのなかで、これを見るといいという案内をしてもらえるといい。

岩瀬委員

外国の方が相談にみえる。3Rをみてくださいといっても、その見方がわからない。学校区がどこになるのかわからない。アプリの使い方をもう少し説明したものといい。

内田委員

ゴミ捨て場が守られていないのは、幼稚園児と一緒に。うちのゴミ捨て場はまもられている。自慢してもよいくらいの多言語のカレンダーがある。それで説明すればわかるのではないかな。

岩瀬委員

目に留めるのは、守ろうという意思のある人だけ。

内田委員

みんなを集めて説明をすればわかる。

岩瀬委員

一戸建てと団地の住民は違う。

磯貝委員

知らない人にアプローチするにはどうすればよいか。

高木委員

どう伝えていくのか、どう動くのかという計画だけでもあるといい。どういう計画でどれくらいのことをやっていこうと思っているのか。いいものもたくさんあると思う。

事務局（稲吉）

いろいろなツールが増えている。ツールがあっても届いてないということだと思う。この意見を聞いて、伝わるにはどうするべきか、その先の提案をいただけると協議会

から担当課に伝えることができる。

高木委員

SNS にシフトしてはどうか。

稲吉委員

現状は、紙で一式渡している。

岩瀬委員

チラシみたいに入っている。あれが読みにくい。

事務局（稲吉）

冊子とゴミカレンダー、毎年変更されるので、それを渡している。

川部委員

ゴミカレンダーをもらっても理解できないから、缶も瓶も一緒に捨ててしまう。指導するのもやさしい言葉だけでは限界がある。

近藤会長

転入した時に渡すだけでなく、窓口で説明することはできそうか。動画をみてもらうのはできそうか。

高木委員

行政では、セットを配っている。困った時にならないと開けない。行政がひとりひとり説明するのは無理なことはわかっている。いろいろなツールを持っているので、LINEなどを使って周知するのは効果的ではないか。

手嶋課長

待っている間にQRコードを読み込んで対応できないか検討する。市民課で説明は人員的にも不可能と思われる。

トラン委員

町内会代表の方から声をかけてもらっている。そういうのもいいかと思う。

事務局（手嶋課長）

新規の方を町内会が把握するのは困難なときもある。町内会で説明会を開くのは、職

員が行って説明できる。ご要望があれば行くことができる。実際に行っている。

磯貝委員

出前講座があることを知らせることが必要だと思う。

ゴミの分別ができていないのは、外国人だけではない。日本人も同じ。

川部委員

稲吉さんがゴミ減量課にいた時に桜町にきて講座をやってもらった。町内会が出前講座を頼まないのは、アパートの人が町内会に入っていないことがあるからだ。

近藤会長

3Rの使い方の説明はあるのか。

事務局（稲吉）

ゴミ減量課がやっているのだからわからない。確認する。

近藤会長

他に何かあるか。

磯貝委員

全体を通して多言語化をしているが、ベースがバラバラなので課によって対応が違っていると追いついていかない。やさしい日本語を共通言語としてやっていくのはどうか。

事務局（稲吉）

本当に言語はバラバラなのですが、ブラジルの方は昔から多かったもので、フィリピン、中国、それぞれが要るかといえば、要らない。50か国の人が西尾市にいますべての言語をフォローするのは難しい。やさしい日本語を共通言語としてやっていくのかも現時点では決めていない。

近藤会長

バラバラで仕方ないのかというのではなく、ニーズによって対応しているかどうか。

事務局（稲吉）

対象者によって作っているところが大きいので、ブラジルは高齢化が進んでいる、ベトナムは若いので、など必要としているところが違う。それぞれの担当課で対応している。違いがでるのも仕方ない。

高木委員

やさしい日本語も文書だけでなく、コミュニケーションツールとして考えてほしい。窓口対応などに関しては、やさしい日本語を。

近藤会長

やさしい日本語の研修とかはやっているのか。

事務局（稲吉）

毎年、窓口職員を対象にやっている。市民向けは国際交流協会がやっている。

内田委員

西尾市はタイ語にまで対応している。いっぱい言語を増やすことがいいとだけは言えない。

事務局（手嶋課長）

最初はやさしい日本語をベース。ポルトガル語、ベトナム語は基本的にお願している。

事務局（稲吉）

アンケート調査では、外国人の方は、読む、書くは難しい。話す、聞くのはできる。かみ砕いて話をしてくれればわかるという外国人の方は大勢いる。自動翻訳が進んでいるのでかざして読んでいる方も増えている。時代が進むにつれて変わってきている。自動翻訳に対応できる日本語でないと。

岩瀬委員

やさしい日本語ではなく、ちゃんとした日本語を使って欲しい。文章のなかでも主語がわからないことが多い。町内から手紙をもらったけれど、町内会長が誰かわからない。

事務局（稲吉）

翻訳の依頼が各課、町内会長から出てくる。寄合とかはわかるが、堅苦しい文章は読み込めない場合が多い。

近藤会長

4月から学校、保育園の連絡帳なども多言語対応できるようになっている。日本語で

もきちんと伝える必要がある。

高木委員

各市の研修で、やさしい日本語研修をやっている。行政側だと、1対1ではないので、翻訳しやすい日本語、やさしい日本語のなかにもいろいろなカテゴリがあり、それぞれやり方が違う。何をピックアップするか課によってちがう。

危機管理課30番の課題及び解決策のところに、伝達可能な多言語やさしい日本語のひな型の作製とあるが、多言語支援センター、防災のフェイスブックをやり始めた時に防災に関しての情報を発信するためのひな型を作った。各課で持っているものを横のつながりで共有できたらいいのではないかと思う。

事務局（山崎）

危機管理課の職員と調整してみます。

内田委員

プランを町内会で回覧できないか。町内会はいくつあるのか。

事務局（蛭川）

町内会数は、約400ある。計画というのは基本的な指針が書いてあるが、読んでみても、解決策になってはいかない。

内田委員

それでもいい。西尾市がやっていることをわかってほしい。

川部委員

多文化が言われるようになってから、市長が4人かわった。ずっと一緒のやり方。生活者の目線が抜け落ちている。

開正住宅の方は避難場所をしらない。防災タワーも作ってもらったが、避難できない人がどこに行くのか、知らない。現場の実態を精査して欲しい。ゴミ問題も重要。いつくるかわからない防災についても急務。今年は、開正住宅の防災訓練をやった。一色西部小が開正住宅の防災倉庫の見学をした。地域の防災の勉強をした。子どもたちの目線で、子どもにもできる防災のやり方がある。急務な課題に対してなんか優先順位をつけて工夫ができるとよい。

高木委員

多文化共生プランについては行政側。地域にできることはたくさんある。多文化共生と

という言葉は知らないが、外国人の方たちと仲良く生活していくにはどうしたらよいか。行政の方+地域の人意識づけがあるとよい。市民ベースで、隣近所の人たちがかかわれる意識づけになるといい。防災の事に関して、子どもたちの方が、早い。日本語ができないから活躍できない子たちでも、日本語以外の子でなければできないことはたくさんある。そういったことを教えて欲しいと言われる。小学生でもできることはある。そういう目線を持っていてくれるようなアプローチができるとよい。具体的には案がないが。

川部委員

多文化共生協議会があるということを日本人が知らないことが問題。こんな活動をしていると地域の人からは、暇人だと思われる。それが現実。

近藤会長

質問あれば、メールで後日でもいいので、事務局へ連絡して欲しい。

磯貝委員

行政文書は難しい言葉が多い。やさしい日本語は、子どもでもわかりやすいもの。コミュニケーションの一つとして少しずつ身につけてもらうのは、外国人だけじゃなく、日本人市民だけでもなく、行政もみんなが助かる。そういう視点で考えてみて欲しい。

高木委員

資料をもう少し早く欲しい

事務局（委員）

資料が遅くなりすみません。

今後の予定として、4月、5月に、年度末までがどんな状況であったかの依頼をかける。進行シートについても、該当の課については回答をもらう。合わせて、今年度の取組みをどのようにするか依頼もする予定。

再度、取組内容の見直しをする。4年度の結果の報告と5年度の計画の回答が出そろった段階で会議を行いたい。

内田委員

数字を出して欲しい。

事務局（山崎）

出せるものについては出す。

近藤会長

他に意見等無ければこれで協議会を終了する。

(閉会)

以上